

特集2 進化する“創大生の学び”

Feature 2: The evolution of Soka student academics

特集3 SPACeに見る創大生の学びのスタイル

Feature 3: Learning Commons SPACe: a precise look at Soka students learning styles

94

創価大学ニュース

2017

Summer

SUN

Soka Univ. News

開設20周年を迎えた 池田文庫



特集1

私が出会った 「池田文庫」の1冊

Feature 1:
The Ikeda Collection that
"I" discovered



「一冊一冊の本が、私にとって多くの思い出がこめられている。どうか読書と研さんに役立てていただければと思う」(創立者)

中央図書館書庫7層には、創立者池田先生が若き日から収集された約7万冊を所蔵しています。哲学、歴史、社会科学、自然科学、芸術、文学など幅広く、学術的にも優れた図書が多くあります。これらを創価大学図書館にご寄贈いただき、1997年5月8日に「池田文庫」が開設されました。

当時の創立者と同じ年の自分を重ねて



『若き日の日記』
池田大作著、
若き日の日記出版委員会

入口右手の揮毫図書コーナーは是非見てほしいですね。創立者の様々な分野の方との交流を知り、衝撃を受けたことを覚えています。絶版になった本や書店では出会わないような貴重な本もあり、お宝がねむっている場所ですね。選んだ本は創立者の『若き日の日記』。当時の先生と同じ年の自分を重ね、現実と奮闘し、成長するエネルギーをいただく気がします。

法学部
法律学科4年
加芝 菜結さん
Nayu Kashiba



『むずかしい子の指導法』林勝造編、
福村出版
『ヤル気を湧かせる』
稲山壬子著、
第三文明社

通信教育部
教育学部児童教育学科1年
黒羽 大さん
Masaru Kuroha

創立者はこんなにも多くの本を読んでいらっしゃるんですね。自分も教育者を目指すものとして、様々な本を読まなければならないと思いました。選んだ本は『むずかしい子の指導法』『ヤル気を湧かせる』。自分の経験でも、先生の教える方次第で勉強が楽しくなったり、やる気が出てきたりします。この本で勉強します。

教育者としての創立者に出会う



『猫と女とモンパルナス』
藤田嗣治、
ノーベル書房

『世界版画15(ロートレックとベル・エポック)』筑摩書房

教育学部
教育学科3年
小嶋 貴子さん
Takako Kojima

2年生から現在まで図書館でアルバイトをしているので、ここは私の心の庭です。たくさん本は創立者の歩まれてきた時間や人生をかいま見るようで、ここに来ると実感できますよ。オープンキャンパスで池田文庫に来られた方は、創立者の書き込みを見つけて心から感動されています。選んだ本は夏目漱石の『こころ』。何度読んでもいい本です。

言葉では説明できない感動が！

私が出会った「池田文庫」の一冊

[特集1]

自分の地元に関する本を見つけて

『小倉百人一首』
鈴木知太郎著、桜楓社



文学部
人間学科1年
湯浅 和美さん
Kazumi Yuasa

実は、昨日の新生ガイダンスでここを知り、さっそく来てみました。興味のある本がいっぱいですね。地元大分県に関する本や私が住んでいた街の名前が表紙にあるものもあり、創立者が目を通されたのかと思うと嬉しくなりました。選んだ本は『小倉百人一首』。限られた文字数で気持ちを表現する和歌は日本独特のもの。外国の文学との比較にも興味があります。

ずっと探していた本を発見！

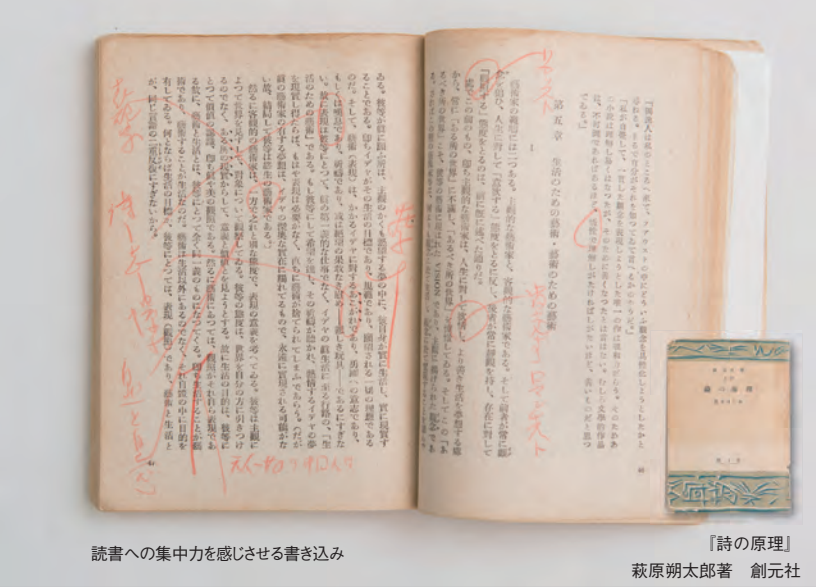
『猫と女とモンパルナス』
藤田嗣治、
ノーベル書房

『世界版画15(ロートレックとベル・エポック)』筑摩書房



文学部
人間学科1年
笠間 大知さん
Daichi Kasama

たくさん本が揃っていて圧倒されました。これが全部創立者の蔵書だとはい！これからは頻りに訪れたいですね。選んだ本は『世界版画15(ロートレックとベル・エポック)』『猫と女とモンパルナス 藤田嗣治』。中学生の頃にテレビ番組で見てから作品集を見てみたいと思っていたのですが、高校の図書館にはなくて。今日ここでやっと出会うことができました。



読書への集中力を感じさせる書き込み

『詩の原理』
萩原朔太郎著 創元社

23歳（昭和12年）
1月8日（月）

汝よ、汝は、いかにして、そんなに、苦しむのか。汝よ、汝は、いかにして、そんなに、泣くのか。汝よ、汝は、いかにして、そんなに、悩むのか。苦しむがよい。若芽が、大地の香りを打ち破って、伸びゆくために。泣くがよい。梅雨の、彼方の、太陽を仰ぎ見る日まで、己むを得まい。悩むがよい。暗き、深夜を過ぎずして、尊厳なる、曙を見ることが出来ぬ故に。帰宅、十時。読書、ミルトン『失楽園』。

24歳（昭和12年）
12月14日（日）

思うこと多し。大志を抱く若人の胸には。『新・平家物語』を読む。興味津々。就寝、一時半。

12月16日（火）

六時より、水滸会。(中略)『水滸伝』の序文を読み、先生、水滸会の意義、使命、確信を述べられる。(中略)一、勉強に励むこと 一、一芸に秀でること 一、勇断なる活動をなしゆくこと 一、思慮、果断の将たること

創立者、若き日の 読書体験から

「池田文庫」に収蔵されている約7万冊もの本の数々。創立者はその1冊、1冊に込められた思いを次のように綴られています。「薄給をやりくりして蓄えた小遣いを持って、神田の古本屋街に飛んでいき、望みの本を見つけては、はやる心を抑えて家路を急いだ。寝る間も惜しんで、1ページ、また1ページと噛みしめるように読み進め、感銘する言葉を見つけたら、ワラ半紙の雑記帳に書き写したことを、懐かしく思い出す」『若き日の日記』から、創大生と同年齢の創立者の様子がかいま見られる部分を紹介しします。

25歳（昭和12年）
4月8日（水）

四月、花は咲き乱れぬ そして、風と共に散りゆきぬ。四月、若人の心の花よ咲き香れ 若人の前進の歌も、舞いゆかん。四月、青春の月、若人の月。四月、青年の月、人生謳歌の月。四月、ホイットマンも、ゲーテも、ミルトンも、ダンテも、みな、心より歌い、戦い、悩み、進みしは、四月。夜、読書。



5月3日から6月25日まで開催された「池田文庫20周年記念特別展」の様子

「戸田大学」で使用された テキストの数々も

池田文庫には、創立者が恩師である戸田城聖先生から学問全般を通して薫陶を受けた「戸田大学」で使用されたテキストも収蔵されています。「科目は、まず『経済学』から始められた。次に『法学』である。さらに『化学』『天文学』『生命論』などの科学全般。また、『日本史』『世界史』。ならびに『漢文』。そして『政治学』という大きな流れで進んでいった。使用したテキストも、たいいてい、当時の最新の部類のものが選ばれていた」(随筆『新・人間革命』『戸田大学』の名講義より)



『経済学入門』波多野鼎著
日本評論社



『法学原論』和田小次郎著
敬文堂書店



『生命』(新科学大系第7巻)
F.S.テラー著・白井俊明
桑木来吉共訳 河出書房



『世界史』矢田俊隆著
有精堂

史料や絵本もあります！ 図書館スタッフが 本を紹介



- ①『八王子市史』
八王子市史編纂委員会編・八王子市
『新修荒川区史』荒川区役所編・荒川区
『秋田縣史』秋田県編・秋田県
『新撰北海道史』北海道庁編・北海道
- ②『ゲーテ全集』J.W.vonゲーテ著・潮出版社
『トルストイ全集』トルストイ著
米川正夫訳・岩波書店
- ③『初級ラテン語入門』
有田 潤著・白水社
- ④『全訳戦争と平和』
トルストイ著 島村抱月訳
鈴木悦訳・目黒分店
- ⑤『美と感覚：フランス美術をめぐって』
富永惣一著・朝日新聞社
- ⑥『天才になれる本：かくれた才能を発見するテスト』
亀井一綱、小堀用一朗 共編・勝利出版
- ⑦『エルマーとりゅう』『エルマーと16びきのりゅう』
ルース・スタイルス・ガネット作：
ルース・クリスマン・ガネット絵：
渡辺茂男訳：子どもの本研究会編・福音館書店

池田文庫には様々な
分野の本があります。
ちょっと意外な本の数々を
スタッフが選んでみました。

池田文庫の利用方法

●閲覧ルール

池田文庫の図書は館内閲覧のみです。
【書庫の入庫資格のある方】
直接、池田文庫に入って閲覧できます。
【入庫資格のない方】
創価大学中央図書館のパソコンから蔵書検索システムで希望資料の出庫申請を行い、書庫利用カウンターにお越しください。スタッフが書庫から該当の本を持ってきますので、館内で閲覧してください。

●入庫資格を取得するには

中央図書館で行っている書庫利用講習会に参加してください。所要時間1時間で書庫の利用に際しての手続きやマナー、各階の資料等の講習を行います。対象：学部生、短大生、別科生、通教生、学部研究生、学部科目等履修生
※教職員、大学院生は入庫資格を有していますので、講習会の受講は必要ありません。
詳細は図書館ウェブサイトをご覧ください。

●池田文庫の見学

オープンキャンパスでは池田文庫見学ツアーを行っています。ツアーでは池田文庫に入り、図書を実際に手に取って自由に見学ができます。



近年、創大生が国際的な会議へ参加したり、国内のコンテストや大会で優秀な成績を収めたりするなど、学外からの評価、注目が年々高まっています。創価大学では昨年度、大学全体、各学部・研究科においてディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）の3つのポリシーを見直し、本学の教育の目的と特色を明らかにしました。今回は、創価大学の進化する学びとその背景の一端をご紹介します。

3つのポリシーの見直しとは

創価大学では2016年5月から、すでに制定していた3つのポリシーの見直しを開始しました。創価大学では建学の精神に基づいて、人類が直面する個々の問題に真摯に取り組み、知恵を発揮していく「創造的人間」の育成を目標としています。そのために「知力」と「人間力」を磨き、「自自力」（学

生一人ひとりが有している可能性）を発見し、開花させる人間教育に取り組んでいます。この建学の精神や、2010年に設定したグランドデザイン（創立50周年に向けたアクションプラン）、すでに行われている教育改革の取り組みなどをふまえ、全学ディプロマ・ポリシーを制定しました。

知識基盤

幅広い知識と高度な専門性

実践的能力

知識を社会に応用する力と
コミュニケーション力

国際性

多様性を受容する力と他者との協働性

創造性

統合する力と創造的思考力

創価大学では、全学ディプロマ・ポリシーを制定することにより、「所定の期間在学し、学士課程を通じて上記の知識・技能ならびに態度を身に付け、所定の単位を修得しGPA基準を満たした学生に学位を授与する」という学位授与方針を明確にしました。さらに、各学部においても学部ポリシー

の議論が行われ、学部の理念・目的、教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーが整合性のある内容に修正され、2017年3月には新しいポリシーとして公表されました。

新しい3つのポリシーの見直しの背景

ー 共通科目におけるラーニング・アウトカムズの設定・活用 ー

この新しい3つのポリシーの見直しの背景には、学部を超えて全学の学生に提供する共通科目における「ラーニング・アウトカムズ」（LOs）の設定があります。LOsとは、各科目を受講することによりどのような成果が得られるのかを明確にするための指標の一つになります。創価大学では、2011年1月に共通科目のLOsを設定しました。このLOsは、創価大学の建学の精神や共通科目の教育目標を念頭に置いて、「知識基盤（学生が何を知っ

ているべきか）」「実践的能力（学生が何をできるようになるべきか）」「教養ある市民としての資質（知識と能力を用いて何を行うおうとするか）」の3つの観点から8つの項目が設定されています。2014年度より8つの項目のうち、対応する科目数が少ないLOsを強化するため「学術文章作法」を必修化し、2018年度には「世界市民教育科目群」を必修科目として設置する予定になっています。また、授業内容の改善のための取り組みも

行っています。授業の到達目標に対する到達度を評価・測定するため、振り返りシート、アンケート等各教員が様々な工夫を凝らして改善に取り組んでいます。2017年度からは、共通科目だけでなく、専門科目においてもLOs測定の取り組みが実施されています。共通科目のLOsを土台にしつつ、各学部の理念や教育目標に合わせてLOsが作成されています。

シラバスはこうなっている！

創大生が履修を決めるときに確認するのが授業のシラバス。シラバスでは、授業概要、到達目標、授業計画、評価・試験方法、（共通科目はラーニング・アウトカムズ）が確認できます。この授業を通して、どのような方法で、どのような力が身に付くのかが見えてきます。そして、その評価方法も。その一部を見てみましょう！

学術文章作法 （共通科目）

大学で求められるレポート課題に取り組む際の基礎技能の養成を目標としています。大学生として、また社会に出るまでの準備期間として、レポートを書く作業を通して、様々な事柄に対し批判的、多角的に検討し、そこから生まれる自分の考えを、適切に他者に伝える力を身に付けることを目的としています。最終的には自ら興味のある事柄でテーマを設定し、レポートを書き上げます。

■ 共通科目ラーニング・アウトカムズとの関係

	人文、社会、自然科学、健康科学領域の基礎知識を理解する
○	多面的かつ論理的に思考する
○	問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する
◎	日本語による多様な表現方法を取得し、明瞭に論じ述べる
	英語と母語以外の他外国語でコミュニケーションを図る
	学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ
	自他の文化、伝統を理解し、その差異を尊重する
	人類の幸福と平和を考え、自己の判断基準を持つ

※科目と最も関係するものに◎印、関係するものに○印

特色ある授業科目を紹介

人間教育論 （共通科目）

本学は建学の精神として、「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の揺籃たれ」「人類の平和を守るフォートレスたれ」との3つを掲げています。これらの精神に象徴される本学の理念と設立の歴史的背景を知することは、4年間の学生生活をいっそう実りあるものとする上で、一つの大きな契機となると思います。創立者の著作・講演を通して、創価大学とはどういう大学であり、何を目指しているのかを考える機会としています。

キャリア開発フォーラム： ワールドビジネスフォーラム(共通科目)

「世界に興味関心がある」「いろいろな国の人と繋がりたい」「語学を活かした仕事に就きたい」など、将来少しでも世界とかかわる仕事がしたいと考えている人を対象に、本学卒業生を講師に招き、世界で働く魅力や醍醐味をお伝えしています。将来の自分のありたい姿やなりたい姿を描くためのヒントをたくさん得ることができ、その実現に向けた学生生活の目標を立てることが可能です。

社会貢献と経済学 （経済学部専門科目）

ボランティアなどを通じた社会貢献と、働くこと自体の社会貢献とを区別して理解できるような授業を目指しています。例えば、東日本大震災で被災された企業が、地域のため、社会のためにどのような思いで企業活動をされているかを直接聞き、それを元に働く意義を考える機会としています。一方、実際に社会で働いているOB・OGの方から、仕事をする上で経済学がどのように役立つかなどを解説してもらいます。

まちづくり・はちおうじ （法学部専門科目）

本学が位置する八王子市の地域社会をつぶさに観察し、直面している政策課題を発見し、その解決のためのアイディアを考え、参加型学習の実践から、公共政策キャリアの魅力と具体像を学ぶことを目的としています。講義科目で学んだ学問的枠組み（理論）をフィールドワークによって検証する、あるいはフィールドワークから得る生の情報・データから新たな説明図式（理論）を考えることにより、各自の問題意識を触発し、公共政策分野に対する関心を高めることができます。

次ページは、「創大生、実力アップの背景」について西浦教授にインタビュー！

教務部長 西浦教授に聞く“創大生、実力アップの背景”

—ここ数年、創大生一人ひとりが力を付けているのを感じます。

そうですね、例えばGCP(グローバル・シティズンシップ・プログラム)の学生は、授業で英語力を徹底して磨き、2年生、3年生になると国際会議で海外の意欲の高い学生と接する機会を得ています。その中で、創大生は自分たちの問題解決能力やチームワーク力は決して海外の学生に負けていないと実感するようです。もちろん課題も見つかるが、自信も得る。そうして世界の一流の人材に触れて帰ってきた学生がそれを周りの学生に伝え、さらに後輩たちが自分もそうしたいという意欲を抱くという、いい循環になっています。

—創大の特徴的な取り組みについて、具体的に説明をお願いします。

2008年に文部科学省の中央教育審議会答申で、「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「総合的な学習経験と創造的思考力」という4つの観点が見られました。それを受けて創大では、2010年度に共通科目のラーニング・アウトカムズ(学習成果)を決定。2016年度には、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を見直すことになり、創大の特徴として国際性、創造性を挙げました。かねてより、創造的世界市民の育成を掲げてきましたが、その取り組みが評価され、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されるなど、国際性と創造性は創大の大きな特徴です。

—教育の成果の「見える化」はどのようにしているのでしょうか？

各学部の特徴をふまえて3つのポリシーを作り直しました。ディプロマ・ポリシーの達成に向け、カリキュラム・ポリシーを作成。共通科目と6学部は来年度から、理工学部と看護学部は2019年度から新しいカリキュラムを実施する準備をしています。各学部のディプロマ・ポリシーがそれぞれ



Profile
西浦 昭雄さん
Akio Nishiura

経済学部教授、教務部長、GCPディレクター。
専門は開発経済学、アフリカの産業・企業研究。

の科目でどう達成されたのかをチェックするリストも作成し始めています。

—学生自身はどのようにチェックし、改善していくのでしょうか？

共通科目が掲げる8つのラーニング・アウトカムズを科目ごとに3つを取り上げ、シラバスに明記しているので、学生は、それぞれの科目の役割、位置づけを意識して勉強することができます。

また、共通科目では、シラバスで到達目標を掲げ実際にどの程度到達できたかを、教員がチェックし改善するための「自己評価報告書」を作成してきました。これを今年度から専門科目にも広げました。

さらに、学生の成長をはかる取り組みを始めています。一つは直接評価で、例えば卒業論文が目標に達成しているか、もう一

つは間接評価で、学生自身が卒業時にディプロマ・ポリシーを達成したと感じているか。学生が成長したという実感を見える化し、その個性を生かして成長できるようにしたい。それが創価大学の“質の保証”に繋がるのだと思います。

—開学以来掲げてきた学生第一主義が、今、また新しい段階に入ったと感じます。

創大は創造的世界市民の育成を掲げています。来年度からは共通科目に「世界市民教育科目群」がスタートし、必修科目になります。今までGCPや国際教養学部の学生を対象にしていた世界市民教育を、全学生に展開していきます。これは、日本の高等教育のモデルになりうるものだと考えています。

ここに来れば学びが進化する！



Closed Space



Semi & Open Space

Support Space



学生のニーズは
さまざま

情報交換したい → Open Space
グループで集まりたい → Semi Open Space
集中して勉強したい → Closed Space
アドバイスが欲しい → Support Space

創大生の学びのスタイルを ラーニング・コモンズ SPACEで徹底調査

[特集3]

“時代を先取りしている!”と注目の中央教育棟2階のラーニング・コモンズSPACE。創大生は自分の学びに合わせて使いこなし、成果を上げています。SPACEがどう使われているか、初級から上級編まで創大生がご紹介します。



ここが入口! Gateway



SPACeを紹介してくれるのは、「+Hands (プラス・ハンズ)」の皆さん。文学部3年の三浦 直美さん(チェックのシャツの女性)、経営学部3年の福元 孝一さん(黒のパーカーの男性)、そして経営学部3年の山田 真菜さん(白Tシャツの女性)です。



Peer Learning Zone

スマホの充電は“草むら”を探せ!

急いでスマホやPCの充電をしたい! そんなときは、ゲートを入ってすぐ先にあるPeer Learning Zoneへ。目印は机の上の草むら(観葉植物)。そこにコンセントがあります。

初級編

まずは気軽に立ち寄れるゾーンへ!



Reading Area

座り心地抜群のソファでリラックス

見るからにリラックスしている人がいるのがReading Areaのソファ。読書や友人との語らいも、心地よいBGMにのんびり過ごすまで。眠ってしまわないよう要注意。



PC Rental

パソコンを借りれば、手ぶらでOK

ノートパソコンは学生の必需品。でも重い! ならば借りてしまおう。レポート作成や情報検索をしたいけど、今日はパソコンを持ってない! というときもHELP DESKへ。

「+Hands (プラス・ハンズ)」とは、「SPACeを利用したいけど……、と思っている人の背中を押す手でありたい!」という意味だそう。だから、彼らを見かけたら、いつでも声をかけて相談してください。ここでは紹介しきれない学生ならではの利用テクニックが、まだいっぱいあるそうです!



HELP DESK

分からないことはなんでも聞こう!

学びに関するサポートならなんでもHELP DESKへ。勉強の仕方、レポートの書き方、履修、留学、セルフマネジメントから日常生活まで、なんでも相談できます。スタッフと話せば、漠然とした疑問や問題点が明確に!

中級編

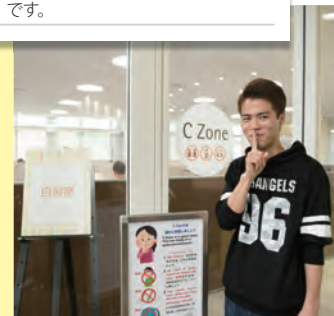
勉強やミーティングに活用してみよう

White Board



勉強に集中するための自習室

SPACeの一番奥にあるC Zoneは、会話禁止の超静かな自習室。勉強がはかどること間違いなし。ガチで勉強したいときにはお勧めです。



C Zone

ホワイトボードとマーカーの貸し出し

SPACeはいつも様々なミーティングに利用されていますが、あると便利なのがホワイトボード。意見を整理したり共有したりが、一目瞭然です。マーカーとセットでどうぞ。



Booth

円形ブースは予約制

ここは数人のミーティングによく使われます。予約ができるので、講師の先生が個別指導などにも使っています。もちろん予約が入っていない時間は自由に使えます。

上級編

あらゆるニーズに活用方法は限りなく



Viewing Room “WA”

畳ベンチでミーティング

座るところに畳が敷いてある個室。DVDで映像資料を見たり、議論したりなど、使い方は自由。日本の心を伝えるイベントも開催されています。予約優先ですが、空いていれば自由に使えます。



Writing Center

レポートの書き方も教えてくれる

Writing Centerでは、日本語や英語のレポートの書き方を分かりやすく、ていねいに指導してくれます。学術的な英文の書き方なども添削してくれ、日本語で相談できるので安心。



SPACeは一度利用してそのコツを会得したら、毎日通わずにはいられないほど利用頻度が上がるそうです。それは学生だけでなく、講師の先生なども同じ。ブースやセミナールームなどは予約できますが、空いていればその間は使えるなど、ルールはとってもフレキシブル。「シェア・タイム」では、皆さんとシェアしたいテーマの発表が毎日に行われています。SPACeは皆さんの使い方で日々進化していくスペースなのです。

Seminar Room



つなげれば30人まで利用できる

10人まで入れる部屋が3つ。仕切りのスライディングウォールを開けてつなげれば、最大で30人まで入れる部屋に変身します。プロジェクターが使えるので、説明会や発表会などにも。予約優先ですが、空いていれば自由に使えます。

フルオープンプレゼンテーション

ラーニング・アリーナで行われる「シェア・タイム」。プレゼンテーションをしたい人はだれでも申し込むことができるし、それにだれでも参加できる画期的なプログラムです。スケジュールをチェックして、是非参加してみてください。刺激を受けますよ!

Share Time



「歩く」意識を変えるだけで、 「身体」も「心」もリフレッシュ！

広いキャンパスを意識して歩くだけで、身体への効き方が全然違う。
その一歩は、理想の健康な身体を手に入れるための前進だ！
さあ、キャンパスを楽しく歩こう！

☆内藤先生や学生が着用しているのは、創大とミスノがコラボしたスポーツウェア！学生ホール・創学サービスでお求めください。
左からビステシャツ(ネイビー) 4,700円、ウィンドブレーカー(白) 7,800円、ムーブクロス(青) 6,200円、ウィンドブレーカー(黒) 7,800円、インナーのボロシャツ(黒) 3,900円、ウィンドブレーカー(白) 6,700円(全て税抜き)

栄光の道にて。内藤先生(真ん中)と教育学部児童教育学科の皆さん。左から中島 亮さん(4年)、川岸 真優さん(3年)、茂木 秀美さん(3年)、小峯 功一さん(4年)。



教育学部
内藤耕三 准教授

専門はスポーツ工学、バイオメカニクス。ゼミでは、バイオメカニクスデータを活用したコーチングや子供の運動技術獲得のための指導法を探索している。

キャンパス内を歩いた時間から1日の エネルギー消費量を計算してみよう！

$$\text{エネルギー消費量(kcal)} = 4\text{メッツ} \times \text{体重(kg)} \times \text{時間(X分} \div 60\text{分)}$$

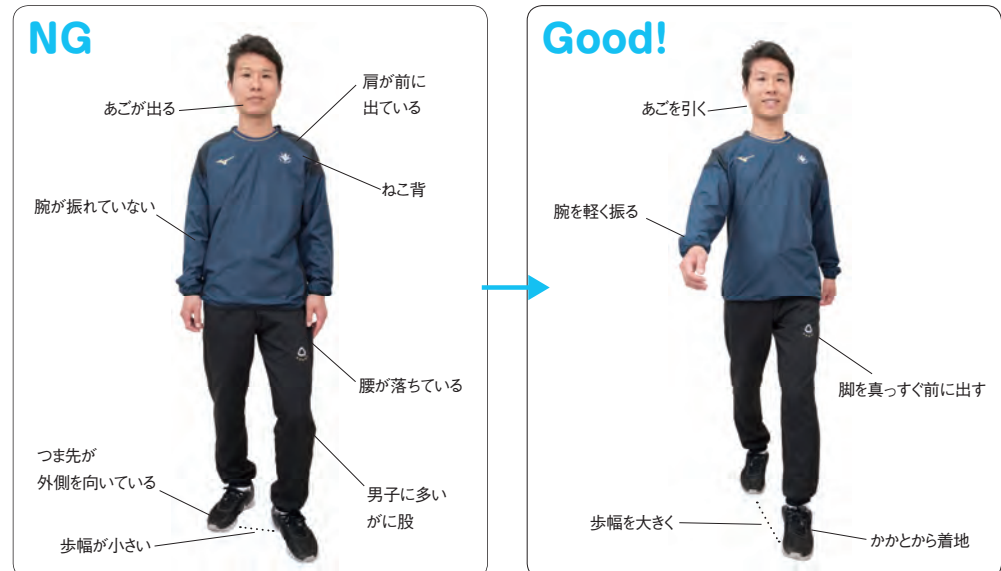
※メッツ(METS)とは身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかで表す単位で、座って安静にしている状態が1メッツ、普通歩行が3メッツに相当します。創価大学のキャンパスのアップダウンの道を軽めの荷物を持って歩くのは4メッツに相当すると考えられます。

例：体重60kgの人が10分間歩いたとすると……

$$4\text{メッツ} \times 60(\text{kg}) \times 10\text{分} \div 60\text{分} = 40(\text{kcal})$$

内藤先生直伝、 Good Walking を目指せ！

実は、歩き方にはその人の日常生活、生き方がそのままあらわれています。ですから、歩く姿を見れば、日々どのように身体を動かしているか一目瞭然。逆に言えば、歩く姿勢を直すことで、自然にメリハリのある生活ができるようになります。



教えて内藤先生！ ウォーキングで身体も心も変わるって本当ですか？

変わる！ 身体編

- 足を真っすぐ前に出してスタイリッシュに歩く！ その君、ねこ背になっていないか！ 背筋を伸ばし、前足部で力強くキックし、スタスタと歩いてみよう。血行が促進され、疲れも取れるよ。
- 太ももの後ろを意識してみよう！ ここは弛ませたくないところ。歩幅が狭いと筋肉が怠けるぞ。時々鍛えてあげてくれ。階段なんかいいね！ 自分にきつく地球にやさしく。
- 女性の皆さん、時々、あなたの小指は曲がってない？ 親指の根元出っ張ってない？ 変形するヒールを脱いでみては？ と治りにくいぞ。たまには裸足で指を使おう。時々、自然に帰れ。

変わる！ 心編

- 「ながら」を止めるだけで意識が変わる 何かしながらって歩きにくいよね。歩くときは意識して歩こう。だらだら歩きをやめてシャキーンと。心のメリハリを付けて。
- 筋肉を正しく動かすと、心が軽くなる！ 気持ちがふさぐと体調を崩すように、身体に引っ張られて心が晴れることだってあるんだ。時には体育館まで歩こう。体育の授業で待っているよ。
- ウォーキングで凝った心をリリースする！ 何気なく歩いていてアイデアが浮かんだ覚えはない？ 偉人も集中と解放のバランスを保っていたそうだ。行き詰まったら軽い運動でリセット。

2018年4月 国際ビジネス学科がスタート!!



2018年4月より創価女子短期大学は、国際ビジネス学科として新たにスタートします。その特色を石井健司教務部長が解説します。

●国際ビジネス学科で学べること

従来の2学科体制から1学科体制になり、より多様な学びができる学科に生まれ変わります。ビジネスと英語両方を学ぶことも、どちらかに特化して学ぶこともでき、一人ひとりの進路に合わせて専門スキルを修得することが可能になります。本学科では1年次にビジネスの基礎を学びます。2年次には希望の進路や興味に合わせて4つの科目群から専門分野を選択し、学びを深めます。さらに、将来英語を使って活躍したい方には、英語特設プログラムを開講。ハイレベルな特別授業や海外語学研修を活用し、社会で即戦力となる英語力を身に付けます。

●夢をかなえる力を付ける

本学では充実したキャリア教育を行い、一人ひとりの夢の実現を全力で応援しています。社会で活躍する短大卒業生との懇談会や各種ガイダンスを頻繁に開催し、自身のキャリアを描くことができます。また、学習支援センターによる無料の資格試験対策講座や留学生との英会話、英語カウンセリングを通じて、実践的なスキルを修得できます。本学は創価教育唯一の女性教育の学び舎。全国から集う仲間と一緒に切磋琢磨し、女性としての力を付け、夢に向かって羽ばたく2年間を過ごしてください。

国際ビジネス学科での学び

ビジネススキルを身に付ける

2年次
ビジネスホスピタリティ科目
簿記・会計科目
情報科目

英語力の向上

グローバル科目

将来英語を使って活躍したい人に

英語特設プログラム

30名の選抜制

ハイレベルな特別授業

海外語学研修の活用

1年次

ビジネス共通科目

詳しい資料請求は
下記で検索！

創価女子短大 資料請求



創大の 学問 探訪



FILE
13
法学部
山田 隆司 准教授

メディアと学術の両方を視野に入れた研究・学生指導で、大学に新風を吹き込む

「学生に求めるのは、自分の意見を持つこと。考え抜いて、説得力を磨いてほしい」

"I want my students to think for themselves. Considering things thoroughly, and developing persuasive reasoning; that's what I like to see."

新聞記者から学問の世界へ転身。 憲法とメディア法のスペシャリスト

山田准教授の現在の専門は憲法とメディア法、そして前職は新聞記者です。メディアは表現の自由のもとで成り立っていますが、その一方で、報道される側の名誉にも配慮が必要ことがあります。どちらを重視するのか、あるいはどのようにバランスをとるのか、記者時代は常に難しい判断を求められていたそうです。そこで、記者の仕事しながら大阪大学大学院に入学し、表現の自由についての研究を深めました。

博士の学位を取得後は、憲法やメディア法のスペシャリストとして単行本の執筆、月刊誌『法学セミナー』の連載、さらに大学の非常勤講師など、活動の場が広がりました。そして、2012年に憲法担当の専任教員として創価大学法学部へ。自らのスタンスをこう語ります。

「研究一筋の先生方とは異なる経歴ですから、それを生かして、メディアの現場と学術の世界の両方を視野に入れた研究・教育をすることを心がけています」

アクティブ・ラーニングを取り入れ、 学生の考える力を引き出す授業を実施

法学部の授業では、1年生の「憲法総論・統治機構論」を担当。分かりやすい授業をしたいと考えた山田准教授はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、ほぼ毎回、「LTD(話し合い学習法)」あるいは「グループ学習」を実施しています。こうした授業は法学部では珍しい試みでした。果たして学生の反応は？ 山田准教授によると、「予習が大変だけど、自分で考えることができるようになった」「議論を通じて自分とは異なる考えを知ることができる」などの感想が寄せられ、手応えを感じる日々だそうです。

憲法判例を学ぶための教科書として使われているのは、著書の『戦後史で読む憲法判例』です。「憲法判例に現れた最高裁の考え方は、いわば公理といったものではありません。そうした考え方が生み出さ

れた時代背景があるのです。判例を理解するには時代背景をよく検討してほしいと思い、筆を執りました」

そもそも憲法とは？ 私たちはどのように憲法と向き合ったらよいのでしょうか。

「憲法とは、国家権力を制限し、国民の権利・自由を守るもの、という立憲主義の考え方を理解することだと思います」

1万字前後のレポートを書いてプレゼンし、 活発に議論する中で鍛えられるゼミ生たち

もっと憲法を学びたい!という学生たちが集まっているのが山田ゼミです。ゼミの研究テーマは「憲法判例研究」。憲法判例中でも、とりわけ人権論の重要判例を研究しています。セメスターごとに、まず、各自が関心のある判例、メディア事件を選び、その歴史的・社会的・政治的背景をふまえ、8000字から1万5000字のレポートを書く。次にそれをゼミで報告(プレゼン)する。最後に報告者の問題提起をもとに、見解の分かれる問題について議論するという流れです。

「学生には、自分の見解を持つように指導しています。単に知識・情報を覚え込むのではなく、自分はどう考えるのか、その根拠・理由は何か。自説とは反対の見解にも目配りし、最終的には、反対説の人から『賛成はしないが理解はできる』と言われる説得力を磨いてほしいと願っています」



『戦後史で読む憲法判例』(日本評論社)。新聞の書評欄で良書と評されるなど、高い評価を得ている。SNSの普及で誰もが情報を発信できる時代の必読書『名誉毀損』(岩波新書)。『「無罪」を見抜く』(岩波書店)は元裁判官に、また『「一票の格差」違憲判断の真意』(ミネルヴァ書房)は元最高裁判官にインタビューしたリアルな裁判の内側



被爆地・長崎へ「平和」を考えるゼミ旅行
(長崎市の平和公園で)



Profile

山田 隆司
Ryuji Yamada

大阪府出身。1985年創価大学法学部卒業。読売新聞大阪本社に入社し、記者として活躍しながら、2008年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。2012年創価大学法学部准教授。2014年から創価大学ジャーナリズムセンター長。2016年カナダ・プリティッシュコロンビア大学客員研究員。専門は憲法、メディア法。主な研究分野は名誉毀損、憲法判例の形成過程。

8/25(金)、8/26(土)、8/27(日)に開催！ 充実の45講座が皆さんの 参加を待っています！

44回目を迎える夏季大学講座が、今年は8月25日(金)から8月27日(日)の3日間で45講座を開講します。昨年は、9,805人が受講。本講座は、創立者池田先生のご提案で、「市民に開かれた大学」を目指し、開学3年目の1973年より始めました。充実した教育設備が整った中央教育棟GLOBAL SQUAREや本部棟などで、創大生活を満喫してください！

●内容

開講日 2017年8月25日(金)・26日(土)・27日(日)
会場 創価大学 東京都八王子市丹木町1-236
聴講資格 自由
聴講料 1講座 2,500円(税込)

※1日に聴講できるのは1講座です。

※申し込み後の変更ならびに返金はできません。

※「創友会・会友会カード」(クレジットカード併用)をお持ちの方は、当日、割引額(500円)を返金いたします。

※講座内容等詳細はWEBにて「創価大学 夏季大学講座」で検索。

●時間帯

午前の講義 10:00～11:30

昼食・休憩 11:30～13:30(校内散策など)

午後の講義 13:30～15:00

※お申し込みの1講座を、午前・午後合わせて3時間聴講することになります。



●ピストンバスの案内

【往路】

JR八王子駅北口14番乗場より大学構内直行便を、午前7時半～午前9時半まで運行します。

【復路】

大学構内2カ所よりJR八王子駅直行便を、午後3時～午後4時まで運行します。
※午後4時以降は、通常の路線バスをご利用ください。

●申込期間

2017年7月10日(月)午前10時～

8月24日(木)午後11時まで。

コンビニエンスストア「ローソン」・「ミニストップ」各店のチケット発券機Loppi(ロッピー)にて購入できます。

魅力ある講座からピックアップ！



楽観主義で感謝と
希望の人生を！

教育学部 教授
鉤 治雄

最近のポジティブ心理学や楽観主義研究の成果をふまえて、「幸福とは何か」について言及すると共に、感謝や希望の大切さについて、と一緒に考えてみたいと思います。



学ぶ心を育む
一子ども達の可能性を見つめてー

教職大学院 准教授
若井 幸子

未来の宝である子ども達を育てる、一人ひとりが偉大な人間教育の指導者。創立者の智慧に学び、限りない可能性を秘めた子ども達の成長のために、共に学びあう時間としてまいりたいと思います。

“第2回SOKA Photo コンテスト”入賞者発表！

たくさんの
ご応募
ありがとうございました！

応募総数143点！
多くの力作の中から、
次の方々が入賞しました。

最優秀賞

選評:朝日と桜の情景が美しく折り重なった、心温まる素晴らしい写真です。創価大学の美しいキャンパス風景をとらえています。

受賞コメント:発展し続ける創大を常に見届けてきたこの朝日と対峙したとき、「創大47年の歴史」を感じ、あまりにも壮大な景色に感動しながら撮影しました。私自身、4年間、この「写真」を通して「人間教育」を学ばせていただきました。創大生活で学んだ全てを社会で示していけるよう、日々精進してまいります。

『47年目の朝』
大峯典人(経済学部4年)



優秀賞



『頂上めざして、一！二！』 大津健一(文学研究科前期博士課程2年)

佳作



『2014・2 娘の受験の日創立者に誓う』
後藤礼子(前橋市在住)



『Cherry Blossoms
Reflection』
堺優斗(法学部4年)



『栄光の道-世界平和の
第一人者へ』
大隅智子(大阪市在住)

世界から見た創大の魅力

International Student Voices



2017年度Non-degree生
ブラッドリー ジェイムズ
オックスレードさん

創大で出会った“人間教育”で 人生観が変わりました

オーストラリアのラトロブ大学から交換留学にきています。15歳の頃、日本人留学生在が自宅にホームステイしていたことから、日本語に興味を持ちました。

ラトロブ大学では国際関係を専攻しています。2年生から1年間日本語の基礎を学び、創価大学の交換留学で来日したときは念願がかなって本当に感動しました。

当初は、なかなか日本語でコミュニケーションが取れず苦労しましたが、創大生の友だちが増えるにつれて、創大の実像が見えてきたのです。彼らは熱心に勉強するだけでなく、友人や家族をとっても大切にします。それまで私は、自分が興味あることを優先して、友人や家族の気持ちにそれほど注意を払ってこなかったもので、彼らの生き方に大

きな影響を受けました。これを他大学に留学したオーストラリア人の友人に話すと、「君は創大に行ってラッキーだったね」と羨ましがられます。そこで創大での留学を、さらに半年間延長する決心をしたのです。

もっと創大の人間教育について学びたいし、国際教養学部には自分の専門である移民など国際関係の授業もあります。新しく開設される「国際平和学研究科」にも非常に興味があります。

実は日本に来る前に、アルバイトで貯めたお金でアルゼンチンの大学に1ヶ月間留学しました。様々な国で異文化に触れることが国際問題への意識を高めてくれます。残り少ない留学期間ですが、創大の人間教育と国際性、日本の文化をできるだけ吸収したいと思っています。

第47回創価大学・第33回創価女子短期大学入学式を挙

Celebrating the 47th Soka University & 33rd Soka Women's College Entrance Ceremonies

4月2日、第47回創価大学・第33回創価女子短期大学入学式が、桜の花咲き薫るキャンパス内の池田記念講堂で挙行されました。式典には、中国文化大学の李天任学長一行らが参加し、新入生を祝福しました。

式典では、石川恵子短大学長の開式の辞に続き、田代康則理事長が創立者からのメッセージを紹介。奥富雅之学生部長が入学した学部生1,632名、通信教育部生511名、日本語研修課程および特別履修課程62名、海外交流校からの交換留学生45名、大学院博士前期課程および修士課程100名、博士後期課程12名、法科大学院生18名、教職大学院生18名、短大生283名を紹介しました。

新入生の代表抱負のあと、馬場善久学長は「皆さんの在学期間は、本学が創立50周年の佳節を迎え、そして次なる100周年へ向かって飛躍する礎を築く4年間であるといえます。本日より、学生、職員、教員が協働して、創価大学創立50周年へ、そして100周年への新たな歴史を共に築いてまいりましょう」と呼びかけました。



祝辞と共に新入生を激励する馬場学長



開式の辞を述べる石川短大学長



パイオニア吹奏楽団が祝賀演奏を披露



厳粛に挙行された入学式

2017年4月度の新任助教紹介

Introducing 2017's newly inaugurated assistant professors

SUN93号で掲載できなかった、新任の助教を紹介します。

新任助教

経営学部	助教	徐 明玉
文学部	助教	ツグラッゲン・エヴェリン
理工学部	助教	木下 貴明
看護学部	助教	尾暮 ひろみ
	助教	杉森 照美
	助教	吉岡 雪子

ワールドランゲージセンター(WLC)

助教	高玉 美葉子
助教	竹内 香織
助教	中塚 絵梨佳

教育・学習支援センター(CETL)

助教	学谷 亮
助教	野崎 雅子
助教	山本 樹

「スーパーグローバル大学創成支援報告会」を開催

Briefing session on Japan's Top Global University Project

4月21日、「スーパーグローバル大学創成支援報告会」を開催し、文部科学省・高等教育企画課国際企画室の岩淵秀樹室長、広島大学の佐藤利行副学長をはじめ、約150名の大学関係者らが参加しました。

本学は2014年、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」に採択。報告会では、同事業で掲げた「人間教育の世界的拠点の構築～平和と持続可能な繁栄を先導する『世界市民』教育プログラム～」に向けた各種取り組みの成果や目標達成への今後の計画等の報告がありました。



創価大学と広島大学が「連携・協力に関する包括協定」を締結

Soka University and Hiroshima University sign an inclusionary cooperative agreement

4月6日、広島大学の東広島キャンパスにおいて、本学と広島大学との「連携・協力に関する包括協定」の調印式を行いました。

両大学は共に、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択校で、今回の基本協定では、「教員・学生の交流」、「学部・大学院単位互換及び学生の教育研究指導」、「国際交流事業」など、連携によって互いのグローバル事業をさらに進めていくことを目的としています。



「日タイ修好130周年記念写真展」を開催

Photography exhibition celebrating "Japan-Thailand 130th Anniversary of Amicable Relations"

5月12日から18日まで中央教育棟にて、本学とタイ文化省、タイ外務省、在京タイ大使館の共催による「日タイ修好130周年記念写真展―プミポン国王陛下を偲んで」を開催しました。開幕式には、タイのタナサック副首相、ウィーラ・ロートポッチャナラット文化大臣、バンサーン・ブンナーク駐日大使、八王子市長らを来賓に迎え約200名が出席。タナサック副首相は挨拶の中で、今回の写真展を通して、さらにタイ日両国の交流が強固になるよう希望しました。



学生の活躍 Student Activity

法科大学院

法科大学院生が国際法学会主催の「小田滋賞(奨励賞)」を受賞 College Law School graduate student receives the "Oda Shigeru (Encouragement Prize)" sponsored by the International Law Society



堀尾雅光さん

第4回小田滋賞授賞式が、6月11日にアルカディア市ヶ谷で開催され、法科大学院3年の堀尾雅光さんが「奨励賞」を受賞しました。「小田滋賞」は、国際法、国際私法、国際政治・外交史の分野における研究を普及し、特に将来を担う若手研究者の育成を促進することを目的に、一般財団法人国際法学会によって設けられました。同分野に関する優秀な論文を顕彰するもので、国内の大学に在籍する学部生、大学院生らを対象としています。

堀尾さんはこれまでの研究内容をまとめた、「多元的戦争概念論の論理的・学说的基盤—19世紀から戦間期にかけての戦争概念論に対する従来の理解の批判的検討—」と題した論文を提出しました。今回の受賞にあたって堀尾さんは、「『人類の平和を守るフォートレスたれ』との創価大学の建学の精神を胸に、同賞の受賞者として恥じぬよう、今後も学び続けてまいります」と述べました。

アジアユースフォーラム

「アジア開発銀行年次総会」アジアユースフォーラムに参加 Participated in "Asian Development Bank Annual Meeting" Asia Youth Forum



左から船戸明美さん、今村仁美さん、田中健児さん、長瀧真子さん

5月2日から7日、パシフィコ横浜で「第50回アジア開発銀行年次総会」の一環としてアジアユースフォーラムが開催され、船戸明美さん(教育学部4年)、今村仁美さん(経済学部3年)、長瀧真子さん(経済学部3年)、田中健児さん(理工学部3年)の4名が参加しました。今回のアジアユースフォーラムでは、年次総会の全体テーマである「ともにひらく、アジアの未来 ~ Building Together the Prosperity of Asia」に基づいて開かれ、アジア諸国からおよそ200名の

青年が集いました。船戸さんは、「特に印象に残っているのは、グループでの議論です。私はカザフスタンやベトナム、スリランカ等のアジア諸国から来た青年らと、タジキスタンにおける水問題と解決策について話し合いましたが、メンバーのバックグラウンドの違いや言語の制約から、議論はしばしば難航しました。相互尊重の姿勢を持ちつつ、意識的に暗黙知を共有することが、多様な国籍の人々が集う議論の場では特に重要だと感じました」と語りました。

ダブルダッチ

「ダブルダッチ世界大会」に日本代表として出場し準優勝 Japan representative Ms. Kuramoto takes second place at the World Double Dutch Contest Belgium



左から3人目が蔵本美菜子さん

4月22日、ベルギーのアントワープで開催されたダブルダッチ世界大会「第11回DOUBLE DUTCH CONTEST BELGIUM」(主催:Planet Jump Rope)に、蔵本美菜子さん(経営学部4年)が日本代表の一員として出場しました。蔵本さんが所属するダブルダッチチーム「ONE will do WELL」は、本年3月開催の国内大会を経て日本代表に選出されました。世界大会には、ベルギー、フランス、ドイツ、ハンガリー、中国、日本の6カ国から約200名が参加。フリースタイルの演技に音楽を

融合させたフュージョンのパフォーマンスで強豪国と競いあった結果、日本代表チームが準優勝に輝きました。蔵本さんは、「一つ一つのパフォーマンスに観客が拍手や声援を送ってくれ、世界大会の雰囲気を感じました。様々な国の選手やスタッフとダブルダッチ以外のことでも友好を深め、世界に視野を広げる良い機会となりました。今後も出会った人たちとの縁を大事にしていこうと思います」と語りました。

女子柔道部

全日本学生柔道優勝大会で創大女子柔道部が健闘 Soka University female Judo team finishes second in national Judo tournament



準優勝に輝いた女子柔道部

柔道部が6月24日、東京・千代田区の日本武道館で開かれた「全日本学生柔道優勝大会(男子66回、女子26回)」に出場しました。男子チームは、惜しくも初戦で敗退しましたが、女子チームが3人制の部で3年ぶりに決勝戦へ進出し、準優勝に輝きました。女子チームは、初戦の福岡工業大学戦に3対0で勝利し、続く旭川大学戦も接戦を制しました。準々決勝の皇學館大学戦では、大将戦で岩佐遥さん(文学部4年)が勝ち、準決勝へ進みました。準決勝では姫路獨協大学と

対戦。最初の2試合は引き分けとなり、最後の試合で、岩佐選手が、残り数秒で勝利をもぎ取り、決勝戦を迎えました。早稲田大学との決勝戦では、最初の試合を落とし、残りの試合が引き分けで、準優勝となりました。石橋清二監督は、「皆さんの応援のおかげで、女子チームは準優勝の結果でした。来年こそは必ず日本一を勝ち取ります」と語りました。なお、今大会の優秀選手に岩佐遥さんが選ばれました。

創価女子短期大学

「MOS/ACA世界学生大会2017」日本大会で短大生3名が入賞 Three Students from Soka Women's College win at MOS/ACA World Championship 2017, Japan tournament



右から南香織さん、山中夕祈さん、亀田准教授。授賞式にて

6月30日に東京国際フォーラムで行われた「MOS/ACA世界学生大会2017」日本大会表彰式において、短大現代ビジネス学科2年生の山中夕祈さんが日本大会第3位に、今春卒業した五十嵐瑠那さんと南香織さんが日本大会入賞に輝きました(ワード、大学短期大学部門)。今回の入賞により、本学学生の日本大会入賞は2011年度より7年連続となります。2015年度では日本代表に選出され、アメリカ・ダラスで開催された世界大会で第3位に

輝きました。授賞式では主催企業である株式会社オデッセイコミュニケーションズの出張代表取締役社長とサーティポート社のジェフリー・ルイス氏の挨拶の後、特別講演として映画監督の佐々木芽生氏が講演。佐々木氏が製作し、今秋公開予定のドキュメンタリー映画「おクジラさま ふたつの正義の物語」をもとに、捕鯨問題を通して垣間見られる文化の対立や人生の教訓について話されました。

チアヒップホップ

「ICUチアリーディング世界選手権2017」で金メダルを獲得 Soka students won gold medals at the 2017 ICU World Cheerleading Championships



左が松尾正樹さん、右が尾本幸一さん

創大生14名と短大生2名が、アメリカのフロリダ州で4月26日から28日(現地時間)に行われた「ICU(国際チア連合)チアリーディング世界選手権2017」に日本代表として出場しました。本大会は、参加国100カ国以上、総動員数約30,000人という、チアリーディング、ダンスの世界レベルの大会の中では、最も規模の大きい世界選手権です。「チームチア・ヒップホップダブルス」では、昨年1位(金メダル)を獲得した、尾本幸一さん(教育学部2年)・松尾正樹さん(文学部2年)のペアが出場しま

した。連続優勝の期待の中、準決勝戦終了時点で、1位とは5.5点差の2位。しかし、最後まであきらめずに演技の調整を続け、決勝戦では見事逆転し、2年連続の金メダルを獲得しました。さらに、「チームチア・ヒップホップ」でも、創大生・短大生を含めた日本代表24人が1位に輝きました。その他、「チームチア・ポムダブルス」でも、日本代表が1位となり、日本チームの圧巻の演技に、他国の選手たちからも万雷の拍手が送られました。

2017年度前期**特待生**

2017 Performance-Based Scholarships

この度、学生部委員会・学部教授会にて審議決定された2017年度前期特待生が発表されました。特待生とは、セメスター（前期／後期）ごとに学業成績が優秀である学生を表彰する制度で、対象者には奨励金15万円が給付されます。

理工学部共生創造 理工学科3年

田中 健児さん

Kenji Tanaka

両親に感謝し、共生創造理工学科一期生の友と切磋琢磨しながら、環境学者になれるよう勉学に励んでまいります。



経済学部経済学科 伊吹 翼 Tsubasa Ibuki	経済学部経済学科 馬渡 結友 Yu Mawatari	経済学部経済学科 鈴木 啓司 Keiji Suzuki	経済学部経済学科 田原 良恵 Yoshie Tahara
経済学部経済学科 山本 広明 Hiroaki Yamamoto	経済学部経済学科 大上 実 Minoru Dajo	経済学部経済学科 松井 美樹 Miki Matsui	経済学部経済学科 亀井 咲希 Saki Kamei
経済学部経済学科 浦上 秀夫 Hideo Uragami	経済学部経済学科 飯山 美幸 Miyuki Iiyama	経済学部経済学科 杉本 美幸 Miyuki Sugimoto	経済学部経済学科 川上 智美 Tomomi Kawakami
経営学部経営学科 吉田 博美 Hiromi Yoshida	経営学部経営学科 加藤 萌衣 Moe Kato	経営学部経営学科 山本 恵美 Emi Yamamoto	経営学部経営学科 石川 早希 Saki Ishikawa
経営学部経営学科 森 栄子 Eiko Mori	経営学部経営学科 齋藤 彩音 Ayane Saito	経営学部経営学科 篠原 和久 Kazuhisa Shinohara	経営学部経営学科 塩田 秀明 Hideaki Shioda
経営学部経営学科 堀内 百花 Momoka Horiuchi	経営学部経営学科 新井 修也 Shuya Arai	経営学部経営学科 山中 幸一 Koichi Yamanaka	法学部法律学科 住谷 亮子 Ryoko Sumitani
法学部法律学科 安達 和秀 Kazuhide Adachi	法学部法律学科 窄口 修兵 Shuhei Sakoguchi	法学部法律学科 生駒 比奈子 Hinako Ikoma	法学部法律学科 高岡 正輝 Masaki Takaoka
法学部法律学科 大橋 秀夫 Hideo Ohashi	法学部法律学科 池田 美咲 Misaki Ikeda	法学部法律学科 深谷 舜 Shun Fukaya	法学部法律学科 吉田 正樹 Masaki Yoshida
法学部法律学科 浜田 光一 Koichi Hamada	法学部法律学科 宮本 直美 Naomi Miyamoto	法学部法律学科 川合 輝 Hikaru Kawai	法学部法律学科 広実 ひかり Hikari Hirozane
文学部人間学科 谷口 凧紗 Nagisa Taniguchi	文学部人間学科社会福祉専修 石橋 加慧 Kae Ishibashi	文学部人間学科社会福祉専修 山之内 敬子 Keiko Yamanouchi	文学部人間学科 楊 暁輝 Cyoki Yo
文学部人間学科 三浦 雄一 Yuichi Miura	文学部人間学科 董 達達 Kantatsu To	文学部人間学科 李文傑 Bunketsu Ri	文学部人間学科 丹尾 美咲 Misaki Nio
文学部人間学科 福地 海斗 Kaito Fukuchi	文学部人間学科 岸 美香 Mika Kishi	文学部人間学科 中後 幸恵 Sachie Chugo	文学部人間学科社会福祉専修 久米 直子 Naoko Kume
文学部人間学科社会福祉専修 山下 真歩 Maho Yamashita	文学部人間学科社会福祉専修 大谷 博志 Hiroshi Otani	文学部人間学科 江田 あかり Akari Eda	文学部人間学科 早川 友恵 Tomoe Hayakawa
文学部人間学科 武田 真和 Mao Takeda	文学部人間学科 鉢呂 恵理香 Erika Hachiro	文学部人間学科 河合 爽佳 Sayaka Kawai	文学部人間学科 オオイシャーメイン Shamein Oi
文学部人間学科 樋口 大輔 Daisuke Higuchi	文学部人間学科 高橋 ひかり Hikari Takahashi	教育学部教育学科 越智 理佐子 Risako Ochi	教育学部教育学科 亀田 悠希 Yuki Kameda
教育学部教育学科 小嶋 貴子 Takako Kojima	教育学部教育学科 平川 夢乃 Yumeno Hirakawa	教育学部教育学科 熊谷 きとえ Kitoe Kumagai	教育学部教育学科 根本 莉奈 Rina Nemoto
教育学部児童教育学科 清水 裕美 Hiromi Shimizu	教育学部児童教育学科 網野 里沙 Risa Amino	教育学部児童教育学科 田村 宙 Sora Tamura	教育学部児童教育学科 小森 清美 Kiyomi Komori
教育学部児童教育学科 山崎 優香 Yuka Yamasaki	教育学部児童教育学科 矢口 直美 Naomi Yaguchi	工学部(現 理工学部)情報システム工学科 新澤 晃一 Koichi Shinzawa	工学部(現 理工学部)情報システム工学科 川口 永一郎 Eiichiro Kawaguchi
工学部(現 理工学部)生命情報工学科 川野 千晴 Chiharu Kawano	工学部(現 理工学部)環境共生工学科 山本 翼 Tsubasa Yamamoto	理工学部情報システム工学科 畠山 翔 Sho Hatakeyama	理工学部情報システム工学科 井門 史貴 Fumitaka Imon
理工学部情報システム工学科 高井 光一 Koichi Takai	理工学部情報システム工学科 長谷川 孝一 Koichi Hasegawa	理工学部共生創造理工学科 池田 光一 Koichi Ikeda	理工学部共生創造理工学科 田中 健児 Kenji Tanaka
理工学部共生創造理工学科 宮林 朋香 Tomoka Miyabayashi	理工学部共生創造理工学科 柴田 勇一 Yuichi Shibata	看護学部看護学科 井上 好子 Yoshiko Inoue	看護学部看護学科 遠山 幸恵 Yukie Toyama
看護学部看護学科 鈴木 梨花 Rika Suzuki	看護学部看護学科 島 慈 Itsumi Shima	看護学部看護学科 川村 愛里沙 Arisa Kawamura	看護学部看護学科 仁尾 咲良 Sakura Nio
国際教養学部国際教養学科 森岡 秀美 Hidemi Morioka	国際教養学部国際教養学科 牧野 りさ Risa Makino	国際教養学部国際教養学科 上延 友 Yu Uenobe	国際教養学部国際教養学科 加藤 優香 Yuka Kato

2016年度 学校法人創価大学の 事業および決算報告書

Fiscal 2016 Soka University Operation and Balance Sheet

創価大学では、大学運営の効率性、透明性を確保し、大学を支えてくださる関係者や社会一般に説明責任を果たすという観点から、財政情報の開示を行っております。詳しくはホームページに今回の事業報告および決算各種資料を掲載しておりますので、ご参照ください。
<http://www.soka.ac.jp/about/finance/>
今後とも、「学生のための大学」「社会に貢献する大学」をモットーに、教育・研究の一層の充実を図ると共に、財政の健全化に向けて、鋭意努力してまいります。

2016年度 資金収支計算書				
収入の部				
単位 (千円)				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	8,797,740	8,772,792		24,948
手数料収入	255,110	249,583		5,527
寄付金収入	7,168,827	7,143,421		25,406
補助金収入	2,160,586	2,119,909		40,677
国庫補助金収入	2,133,386	2,092,794		40,592
地方公共団体補助金収入	23,700	23,615		85
学術研究振興資金収入	3,500	3,500		0
資産売却収入	17,967,226	17,757,333		209,893
付随事業・収益事業収入	829,788	854,114		△ 24,326
受取利息・配当金収入	3,071,577	3,467,008		△ 395,431
雑収入	301,000	317,568		△ 16,568
借入金等収入	0	0		0
前受金収入	2,240,000	2,177,297		62,703
その他の収入	1,216,695	1,350,875		△ 134,180
資金収支調整勘定	△ 2,406,961	△ 2,398,754		△ 8,207
前年度繰越支払資金	6,183,218	6,183,217		0
収入の部合計	47,784,806	47,994,365		△ 209,559
支出の部				
単位 (千円)				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	7,068,975	7,073,951		△ 4,976
教育研究経費支出	6,145,751	5,608,285		537,466
管理経費支出	1,707,358	1,750,281		△ 42,923
借入金等利息支出	2,288	2,267		21
借入金等返済支出	35,541	35,540		1
施設関係支出	6,415,191	6,444,846		△ 29,655
設備関係支出	227,428	298,953		△ 71,525
資産運用支出	20,824,217	17,926,700		2,897,517
その他の支出	1,410,579	1,371,407		39,172
予備費	(11,579,000)			38,421
	38,421			
資金支出調整勘定	△ 1,891,212	△ 849,975		△ 1,041,237
翌年度繰越支払資金	5,800,269	8,332,109		△ 2,531,840
支出の部合計	47,784,806	47,994,365		△ 209,559

2016年度 貸借対照表				
資産の部		単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	235,471,948	233,132,770	2,339,178	
有形固定資産	103,992,771	101,183,422	2,809,349	
土地	18,418,633	18,415,808	2,825	
建物	72,016,757	67,214,732	4,802,024	
その他	13,557,381	15,552,881	△ 1,995,500	
その他	34,911,529	34,968,672	△ 57,143	
流動資産	8,939,856	7,226,490	1,713,365	
現金・預金	8,332,109	6,183,217	2,148,892	
その他	607,746	1,043,273	△ 435,527	
資産の部合計	244,411,804	240,359,261	4,052,543	
負債の部		単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	3,604,513	3,449,081	155,432	
退職給付引当金	3,523,653	3,332,681	190,972	
その他	80,860	116,400	△ 35,540	
流動負債	2,959,105	3,138,596	△ 179,491	
前受金	2,177,297	2,106,991	70,307	
その他	781,808	1,031,606	△ 249,798	
負債の部合計	6,563,618	6,587,678	△ 24,060	
純資産の部		単位 (千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
基本金	243,809,760	238,727,730	5,082,029	
第1号基本金	167,463,898	161,777,868	5,686,029	
第2号基本金	8,675,976	9,280,976	△ 605,000	
第3号基本金	66,639,886	66,638,886	1,000	
第4号基本金	1,030,000	1,030,000	0	
繰越収支差額	△ 5,961,574	△ 4,956,147	△ 1,005,427	
翌年度繰越収支差額	△ 5,961,574	△ 4,956,147	△ 1,005,427	
純資産の部合計	237,848,186	233,771,583	4,076,603	
負債及び純資産の部合計	244,411,804	240,359,261	4,052,543	

2016年度 事業活動収支計算書					
単位 (千円)					
教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	8,797,740	8,772,792	24,948
		手数料	255,110	249,583	5,527
		寄付金	1,801,827	1,832,851	△ 31,024
		経常費等補助金	2,160,586	2,119,909	40,677
		国庫補助金	2,133,386	2,092,794	40,592
		地方公共団体補助金	23,700	23,615	85
		学術研究振興資金収入	3,500	3,500	0
		付随事業収入	829,788	854,114	△ 24,326
		雑収入	300,250	306,061	△ 5,811
	教育活動収入計	14,122,301	14,122,310	△ 9	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	7,260,227	7,264,922	△ 4,695
		教育研究経費	9,433,749	8,883,652	550,097
		管理経費	2,198,141	2,232,161	△ 34,020
		徴収不能額等	80,000	72,691	7,309
		教育活動支出計	18,972,117	18,453,427	518,690
		教育活動収支差額	△ 4,849,816	△ 4,341,116	△ 508,700
教育活動外収支		事業活動収入の部	科目	予算	決算
	受取利息・配当金		3,071,577	3,467,008	△ 395,431
	その他の教育活動外収入		0	0	0
	教育活動外収入計		3,071,577	3,467,008	△ 395,431
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	2,288	2,267	21
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,288	2,267	21
		教育活動外収支差額	3,069,289	3,408,951	△ 339,662
		経常収支差額	△ 1,780,527	△ 932,165	△ 848,362
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	161,100	230,681	△ 69,581
		その他の特別収入	5,430,750	5,361,792	68,958
		特別収入計	5,591,850	5,592,473	△ 623
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	405,471	578,531	△ 173,060
		その他の特別支出	4,167	5,174	△ 1,007
		特別支出計	409,638	583,705	△ 174,067
		特別収支差額	5,182,212	5,008,768	173,444
		予備費	(10,187) 39,813		39,813
基本金組入前当年度収支差額		3,361,872	4,076,603	△ 714,731	
基本金組入額合計		△ 5,231,210	△ 5,082,029	△ 149,181	
当年度収支差額		△ 1,869,338	△ 1,005,427	△ 863,911	
前年度繰越収支差額		△ 4,956,147	△ 4,956,147	0	
翌年度繰越収支差額		△ 6,825,485	△ 5,961,574	△ 863,911	
(参考)					
事業活動収入計		22,785,728	23,171,791	△ 386,063	
事業活動支出計		19,423,856	19,095,188	328,668	



OPEN CAMPUS 2017

学部・学科の体験授業、教員や学生に直接質問ができる相談コーナー、広大なキャンパスをまわるバスツアー、入試問題「傾向と対策」講座（英語・国語・数学）、入試ガイダンスなど多彩なプログラムを用意しています。皆様のご参加をお待ちしています！

参加者登録で記念品プレゼント

オープンキャンパスに参加し、参加者登録をすると創価大学オリジナルの素敵な記念品をプレゼント！

2017

7月29日 土
30日 日
8月20日 日

2018

3月21日 水 祝
開催時間
10:00～16:00
※短大も同時開催

創大・短大で、あなたの未来の姿を発見してください!!



相談コーナー



キャンパスバスツアー



体験授業



ワールド大会



学部企画



創大ライブナビ

2018年度 入学試験日程決まる!

創価大学			
	出願期間	試験日	合格発表日
PASCAL 入試 ※1	2017年8月22日(火)～9月1日(金) (郵送 締切日消印有効)	第一次選考 書類審査 第二次選考 2017年10月14日(土)	第一次選考 2017年9月25日(月) 第二次選考 2017年10月23日(月)
公募推薦入試	2017年11月1日(水)～11月8日(水) (郵送 締切日消印有効)	2017年 11月18日(土)	2017年 11月29日(水)
大学入試 センター試験利用入試 (前期3科目方式) ※2	2017年12月20日(水)～2018年1月19日(金) (郵送 締切日消印有効)	2018年 1月13日(土)・14日(日)に実施される大学入試 センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2018年 2月14日(水)
大学入試 センター試験利用入試 (前期4科目方式)			
全学統一入試 (3科目方式)	2017年12月20日(水)～2018年1月19日(金) (郵送 締切日消印有効)	2018年 2月3日(土)	2018年 2月14日(水)
全学統一入試 (2科目方式) ※3			
一般入試	2017年12月20日(水)～2018年1月19日(金) (郵送 締切日消印有効)	経済・法・教育学部 2018年2月7日(水) 経営・文・国際教養学部 2018年2月8日(木) 理工・看護学部 2018年2月9日(金)	2018年 2月17日(土)
大学入試 センター試験利用入試 (後期3科目方式) ※2	2018年2月22日(木)～3月2日(金) (郵送 締切日消印有効)	2018年1月13日(土)・14日(日)に実施される大学入試 センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2018年 3月12日(月)

※1…理工学部・国際教養学部は実施しない ※2…看護学部は実施しない ※3…看護学部・国際教養学部は実施しない

創価女子短期大学			
	出願期間	試験日	合格発表日
公募推薦入試	2017年10月24日(火)～11月2日(木) (郵送 締切日消印有効)	2017年 11月11日(土)	2017年 11月17日(金)
一般入試	2018年1月4日(木)～1月22日(月) (郵送 締切日消印有効)	2018年 2月4日(日)	2018年 2月13日(火)

Campus Academic Visit

創価大学の実際の授業を高校生・受験生の皆さんに体験していただくことができる「Campus Academic Visit」を開催します。この機会に是非、創価大学の日常を体験してみてください!

9月18日(月・祝)

※詳細はWEBから

「創価大学 Campus Academic Visit」で検索

配布中

キャンパスガイド2018

創価大学、創価女子短期大学のキャンパスガイド2018がご請求いただけます。



資料請求は、創価大学ホームページから
<https://www.umcnavi.jp/soka/soka.asp>

編集部からのお知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp

